

- 1 単 元 体の成長と健康  
 2 め あ て ・ 体は、思春期になると次第に大人の体に近づくこと、また、異性への関心が芽生えることを理解させる。  
 ・ 性自認や性的指向について知り、性について悩みをもつ人がいることを理解させる。  
 3 人権教育の内容 差別と人権問題についての学習 2-(2)-ア  
 4 展 開

児童の活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点・評価(※)
1 前時の学習を想起し、本時の学習の課題をつかむ。  2 こころの性と好きになる性について考える。	○ 女性と男性には、どのような違いがありましたか。 ・ 思春期の、体の外や中の変化。 ・ 性器など、体のつくりの違い。 ・ 好きになる相手の性別。  ○ 33ページの発展のコーナーを読み、疑問点を発表しましょう。	○ 体の外に起こる変化(体つきなど)と、体の中に起こる変化(初経や精通)について、資料を提示する。異性への関心も押さえる。 ○ 児童の疑問から課題設定し主体的な学習へつなげる。
「性についてのなやみ」には、どのようなことがあるのだろうか。		
3 ゲストティーチャーの話 を聞く。 (1)こころの性について 【性自認】 (2)異性への関心について 【性的指向】  4 悩みについて考え、話し合う。  5 本時をふり返る。	○ 「からだの性とこころの性が違う気がする」というのは、どういうことでしょう。お話を聞きましょう。  ○ 「異性に関心をもてない」ことについても、お話を聞きましょう。  ○ からだの性とこころの性が違うと感じる人は、どんな悩みがあるでしょう。 ・ いやな服でも着ないといけない。 ・ 体の変化にとまどう。 ・ トイレに入りにくい。  ○ 異性に関心をもてないと感じる人は、どんな悩みがあるでしょう。 ・ 自分だけおかしいのではないか。 ・ 相手に分かってもらえないのでは。  ○ 分かったことをまとめましょう。 ・ からだの性とこころの性が違っていてもいい。 ・ 誰を好きになってもいい。 ・ 周りには悩んでいる人がいる。 ・ 信頼できる人に相談したらいい。 ・ 正しく知っていれば、自分も相談相手になれる。	○ 教科書で紹介してある2つの悩みを分けて板書し、性自認と性的指向の違いを明確にする。 ○ 児童に分かることばで板書したり、絵を提示して内容を補足したりする。 ○ 学校や家庭生活をイメージさせる。机間指導をし、意見が書けていなかったり意見の内容がずれていたりすれば、トイレの例を出す。 ○ 発達段階の差によりイメージしづらい児童が多いと考えられる。「周囲と違う不安」について深く考えさせる。  ○ 悩みがあるときの相談相手や体制について知らせる。 ※ 性について悩みをもつ人がいることが分かる。(または、自分の悩みを抱え込まずに相談すればいいことが分かる。) 【知・技】